

私大図協・東・研・2011-47  
2011年10月21日

加盟大学図書館長 殿

私立大学図書館協会  
東地区部会研究部担当理事校  
東京農業大学図書館  
館長 友田 清彦  
【公印省略】

### 2011年度 研究分科会報告大会開催のご案内

貴館におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこのたび、標記研究分科会報告大会を下記のとおり開催することになりました。つきましては、館務ご繁忙のところを誠に恐縮ですが、貴館職員の参加につきましてご高配いただきたくよろしくお願い申し上げます。

なお、参加申込につきましては、お手数ですが、同封参加申込書へ必要事項を記入の上、ファックスにて11月25日(金)までにお申し込みいただきますようお願いいたします。

#### 記

1. 日 時 2011年12月15日(木) 10:00~16:40(受付9:00~)  
16日(金) 10:00~15:50(受付9:00~)
2. 定 員 各100名  
\*参加希望者が定員をオーバーした場合、申込順に1名/1大学(各大学1番該当者)とさせていただきます。
3. 会 場 明治学院大学 パレットゾーン白金2F アートホール  
所在地 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37  
<http://www.meijigakuin.ac.jp/campus/shirokane/>
4. 発表概要(発表日・発表時間)  
次頁掲載のとおり。

12月15日(木)

**(15A) 【西洋古版本研究分科会】 (10:00~10:50)**

西洋古版本を見る眼

— 2010-2011年度 西洋古版本研究分科会 活動報告 —

(研究発表要旨)

今期は、西洋古版本とは何か、古版本をどのように見るかを中心に学習してきた。今回の発表では、前半に、月例会を通して学んだ西洋古版本について概要を述べる。後半では、整理の実務に役立つ情報も交えながら、具体的な西洋古版本の見方と調査の結果について報告をおこなう。

発表者： 山岸拓郎(専修大学図書館) 松谷有美子(清泉女子大学図書館)  
岡田勢一郎(共立女子大学図書館)

**(15B) 【和漢古典籍研究分科会】 (10:55~11:45)**

和漢古典籍の書誌作成(NC入力への試みと無刊記本の刊年推定)

(研究発表要旨)

『諸家人物誌』3点の書誌を比較し、その3点をNCフォーマットで入力した場合の違い等を説明します。また、古典籍の目録作成時に特に問題となる無刊記本のうち主に唐本について、刊行年代の推測を可能にする様々な手がかりをご紹介します上で、実際に分科会の中で出会った無刊記本について、年代の推定を試みます。

発表者： 生田 陽子(学習院女子大学図書館)  
植苗 翔(中央大学図書館)  
高浜 みのり(獨協大学図書館)  
飯泉 慎也(専修大学図書館)

**(15C) 【理工学研究分科会】 (13:00~13:50)**

学協会図書館研究—灰色文献を求めて—

(研究発表要旨)

今期は、理工系学協会図書館の活動に着目し、調査を行った。図書館・図書室を有する学協会を見学し、収書・公開・電子化等について各館の特色や相違点や、会議資料などのいわゆる灰色文献の取扱いについて調査した結果を報告する。

発表者： 内山 光子(日本大学理工学部図書館(船橋))  
平田 さくら(明治大学生田図書館)  
伊藤 親子(中央大学図書館)

**(15D) 【L-ラーニング学習支援システム研究分科会】 (13:55~14:45)**

図書館員による図書館員のためのサブジェクト・リポジトリの可能性

—大学図書館員のメンターを目指して—

(研究発表要旨)

日常業務から図書館界の旬の話題まで、大学図書館員が直面する課題は多種多様です。しかし、様々な要因から、一人果敢にこれらの課題に立ち向かっている図書館員は確実に増えています。「図書館員による図書館員のためのリポジトリ」は、そんな大学図書館員の問題を解決に導く”メンター”となりえるのではないのでしょうか。

今期の活動報告とともに、その可能性について発表します。

発表者： 小田切夕子(麻布大学附属学術情報センター)

金子和代 (早稲田大学所沢図書館)

**(15E) 【パブリック・サービス研究分科会】 (14:55~15:45)**

大学図書館の『資源』を活用した図書館サービス向上の方向性  
(研究発表要旨)

大学冬の時代が叫ばれる中、大学図書館には、学習支援等の新たな機能・役割が求められている。職員削減が進む中、図書館への期待に応えた“図書館サービス向上の方向性”について「人的資源の確保策としての外部人材の起用」と、「学士力育成の実現に向けた図書館資源の効果的な活用方法」の点から考察する。

発表者： 加藤 庸介 (文化学園大学) 嶋崎 尚代 (昭和女子大学)  
市川 さやか (法政大学) 撰 正弘 (国立音楽大学)  
塩瀬 雅博 (女子栄養大学) 杉本 正武 (成城大学)  
武藤 恵子 (中央学院大学) 菅原 衣可 (中央大学)  
池上 道代 (東洋英和女学院大学) 生澤 佳奈子 (獨協大学)  
山田 裕子 (武蔵大学) 阿部 勝樹 (早稲田大学)

**(15F) 【分類研究分科会】 (15:50~16:40)**

「使いやすいNDC」は実現可能か？  
(研究発表要旨)

分類研究分科会は前期より日本十進分類法新訂10版改訂試案に関する検討を継続している。NDC10版は、その改訂方針において「使いやすいNDC」を目標とすることを謳っているが、どの程度実現可能なものか。現行の9版の問題点や10版試案の効果検証・批評をもとに、その可能性を検討する。

発表者： 藤倉 恵一 (文教大学越谷図書館)

**12月16日 (金)**

**(16A) 【逐次刊行物研究分科会】 (10:00~10:50)**

逐次刊行物の蔵書構築について  
- コアジャーナルと資料電子化の動向から -  
(研究発表要旨)

本分科会では逐次刊行物の蔵書構築に関して2つの観点から調査・研究を行ってきたそれぞれの研究成果について報告します。

電子化研究グループでは、2004 - 2005年度の逐次刊行物研究分科会報告である「電子ジャーナル入門」を土台に、2005年以降の電子ジャーナルを中心とした資料電子化の動向を報告します。

また、コアジャーナル研究グループでは、今後各大学が教育研究上、備えるべき基本的な洋雑誌について考える時に、ひとつの指標となるようなコアジャーナルのタイトルリストの作成について報告します。

発表者： 横山 友紀 (大東文化大学図書館) 大関 学 (国立音楽大学附属図書館)  
片岡 真裕子 (東京農業大学学術情報センター (図書館))  
蔵本 祐史 (東洋学園大学図書館) 高橋 泰行 (大正大学附属図書館)  
田代 陽子 (日本女子大学図書館)  
田中 麻巳 (立正大学情報メディアセンター (図書館))  
三上 彰 (桜美林大学図書館)

**(16B) 【レファレンス研究分科会】 (10:55～11:45)**

ネット資源の評価に向けた指針策定

(研究発表要旨)

現在、利用者の情報要求に対して、ネット上の情報資源と蔵書とを組み合わせたレファレンスを行うという現実があります。

この際、従来の紙媒体によるものではない、ネット資源を用いた情報検索で、情報資源の信憑性・裏付けの確認などを体系的に行うことができるかという問題があり、改善策を講じる必要があります。

以上の理由から、本研究分科会は「ネット資源の評価に向けた指針策定」を課題に研究を行い、その成果を報告します。

発表者： 原田 暁（東洋大学 白山図書館）

**(16C) 【情報リテラシー研究分科会】 (13:00～13:50)**

各校の現状に適した情報リテラシー教育の提供

(研究発表要旨)

図書館職員による情報リテラシー教育への取り組み中心とした研究。情報リテラシー教育の概要と変遷から、現在会員館で実施している情報リテラシー教育の取り組み、公共図書館における情報リテラシー教育への取り組み・利用者サービスの事例を踏まえ、それぞれの図書館に適した情報リテラシー教育と今後の課題を提案する。

発表者： 林 真紀（東京都市大学図書館） 伊藤 史織（大正大学付属図書館）  
今井 智子（文化学園大学図書館）

**(16D) 【研修分科会 活動報告】 (13:55～14:45)**

2011年度 活動報告

(活動報告要旨)

当研修分科会は、研究分科会活動の活性化を図るため、大学図書館職員が求められる知識や考え方を供給し、研究分科会参加の準備機能を持つ場として発足し、今年度会員による年4回の活動の成果・感想等の報告を行う。

発表者： 当日紹介いたします。

**(16E) 【海外認定研修報告】 (14:55～15:40)**

海外認定研修報告

(研修報告要旨)

「あらたな海外研修」として2010年度設立された私立大学図書館協会海外認定研修は、従来の海外の図書館を調査することを主目的に旅行を計画するのではなく、パッキングツアー等の海外旅行の機会を生かして、現地の図書館を調査した研修内容の報告を行う。

発表者： 本間 通正（東京理科大学図書館）  
江原 つむぎ（立教大学図書館）  
堀江 元信（麗澤大学図書館）

以 上